

介護実習の内容・特徴

静岡県立富士宮東高等学校 福祉科

1. 介護実習の目標

介護に関する体験的な学習を多様な介護の場において行い、知識と技術を統合させ、介護従事者としての役割を理解させるとともに、適切かつ安全な介護ができる実践的な能力と態度を養う。

- | |
|--|
| ① 多様な介護の場において利用者一人一人の生活や個性を尊重し、介護を行うことを理解する。 |
| ② 基礎的な介護の知識と技術を様々な介護場面において適切かつ安全に支援することを学ぶ。 |
| ③ 多職種協働及びチームケアの理解と職業倫理について学ぶ。 |

2. 各学年実習のねらい

【第1学年 介護実習Ⅰ】

実習場所	実習のねらい
障害者支援施設	①施設の社会的役割と概要（理念・特徴・機能・利用者）を知る。 ②障害に伴う機能の変化と日常生活への影響について知る。 ③障害者と関わり、1日の生活の流れを知る。 ④施設で働く介護従事者の職種と役割を知る。
認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	①利用者の1日の生活の流れを知る。 ②認知症利用者に関わり、適切な介護方法を学ぶ。 ③グループホームのサービス内容について理解する。
通所介護(デイサービス)・通所リハビリテーション(デイケア)	①利用者とのコミュニケーションを学ぶ。 ②送迎時の利用者への関わり方や観察方法について学ぶ。 ③通所介護(デイサービス)、通所リハビリテーション(デイケア)の役割と機能を理解する。

【第2年次 介護実習Ⅰ】

実習場所	実習のねらい
障害者支援施設	①障害を理解し、適切な援助方法を学ぶ。 ②障害のある人の心理や身体機能について理解する。
介護老人福祉施設・老人保健施設	①施設の社会的役割と概要（理念・特徴・機能・利用者）を知る。 ②利用者の1日の流れを知る。 ③利用者の日常生活支援をするための基礎的知識と技術を学ぶ。 ④施設で働く介護従事者の職種と役割を理解する。 ⑤介護記録の意義について理解する。

【第3学年 介護実習Ⅱ】

実習場所	実習のねらい
介護老人福祉施設・老人保健施設	①基本的な介護技術をもとに利用者の状態に応じた介護技術を学ぶ。 ②介護過程の重要性と必要性を理解する。 ③利用者の介護計画の作成、評価、計画の修正等介護過程の展開について学ぶ。 ④医療・看護領域を理解し、医療と福祉の連携を学ぶ。 ⑤他職種協働や関係機関との連携を通じてチームの一員としての介護福祉士の役割を学ぶ。

3. 実習の流れ

1年次 介護実習Ⅰ	6月	2日間	障害者支援施設
	9月	5日間	通所介護（デイサービス）・通所リハビリテーション（デイケア） 又は認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
	10月	5日間	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）又は通所介護（デイサービス）・通所リハビリテーション（デイケア）
↓			
2年次 介護実習Ⅰ	6月	5日間	障害者支援施設
	7月	5日間	障害者支援施設
	10月	10日間	介護老人福祉施設・老人保健施設等
↓			
3年次 介護実習Ⅱ	5月	10日間	介護老人福祉施設・老人保健施設等
	7月	10日間	介護老人福祉施設・老人保健施設等

4. 1日の流れについて（原則）

時間	内容
8:20	実習開始
12:00 ～ 12:45	} 昼休み
12:45	
12:45	実習開始
16:35	記録 実習終了 解散

※1日あたりの実習時間がトータル450分以上となるようにする（休み時間を除く）。

※昼休みは原則として45分間とする。

※施設によって実習開始・実習終了の時間が異なる。

5. その他

- ・介護実習にかかわる施設への委託費は県が負担する。
- ・実習施設までの交通費や実習ユニフォーム、検査等の実費は各自の負担となる。